

# くらき永田保育園便り 10月

昨年に引き続き「保育士が考えた到達目標をクリアする運動会」から「子ども自身が考えた遊びの延長線上の運動会ごっこ」への変革をテーマにした「こども参加・参画」の運動会は如何だったでしょうか？ 事前に見ていただいた動画の中でも『話し合い➡実践し➡振り返り、向上させる』といった姿が生活場面でたくさん見られたことは保育士たちにとっても喜びでありました。振り返って競技内容を見てみると かけっこや玉入れ、綱引きなど運動会では定番のプログラムが並んでいるように見えますが、実際の子どもの姿は特別なものに見えたのは私だけではないと思います。これからも予定調和的な“やらせる行事”ではなく、面倒くさいプロセスはあっても子どもの意見も取り入れられた生活を大切にしていきたいと思います。

## 《保育園からのお知らせ & お願い》

運動会では赤い羽根募金に協力していただきありがとうございました。共同募金は私たちのような福祉活動を側面的に支えてくれている団体です。

10/1～12/31の期間は赤い羽根共同募金の運動期間ですので、引き続き玄関ホール付近で募金を継続します。保育・福祉活動への後方支援を宜しくお願いします。

## 《対話ってなんだろう？》

コミュニケーションが大切なのは保育業界だけではないと思われませんが、子どもの主体性を支えるためには応答的で対話的な保育士の表現の未発達のコミュニケーション能力とても重要です。今年度は「対話」の大切さを職員間で継続して学んでいます。僕は生活の中で当たり前のように会話していますが、それが雑談なのか、議論なのか、それとも対話なのかをそれほど意識していません。今月、全国から保育の仲間が集まり「決めるな、分かち合え」をテーマに子どもや職員の想いを分かち合うための研修を行います。こどもとの関係性が今よりもっと深くなるような学びが出来たらと願っています。

## 《自然物と表現活動》

園庭には、クヌギ、コナラ、シラカシといった種類のドングリが子どもたちの魅力的な遊び素材になっており、また、近所の公園には大きなマテバシイがゴロゴロ落ちているようです。その他、まつぼっくりや色とりどりの落ち葉など秋は自然界からの贈り物が保育材料となってきます。これらの自然物とふれあう中で何かを感じ、ココロが動いたときに様々な表現活動が生まれてきます。カラダを気持ちよく動かす運動会から、ココロの動きを様々な方法で表現する発表会へ保育士のアタマも徐々に変化していく季節です。

# 各クラスの「カラダを使った遊び方」をお伝えします！



## にこにこ

にこにこ組は知っています。部屋の押し入れに楽しいモノがあることを！保育士が開けようとする集まってきて期待の眼差しが向けられます。そして、マットの山やトンネルが出来ると這い這いや歩いて登り降りをしたりくぐったり、頂上で一休みをしたり、うつ伏せで滑り降りることを楽しんでいる姿もあります。

壁にも玩具を設置しています。這い這いから玩具に手を伸ばしていくと少しずつ届く範囲が広がります。つかまり立ちができるようになると片手でバランスを取り、それらの玩具で時には友だち同士で壁に向かい隣に並んで一緒に遊んでいる姿も見られますよ。

わらべうたも大好きなにこにこ組。保育士が歌うわらべうたに合わせて身体を大きく左右に揺らしたり、オーガンジーを上下に振ったり、仕草を真似たり、保育士の足の上に跨って身体を上下に弾ませたり、ゴロンと一回転することができるようになる子もいます。

自分で動くことが楽しい！身体を動かすことが楽しい！出来るようになると嬉しい！これからもそう感じて遊べるように保育士も楽しみながら工夫していきたいと思います。



## よちよち

身体を動かして遊ぶことが好きな子どもたちは室内でも元気いっぱい！一人が走り始めるとつられて走り出す子が多く、毎日にぎやかです。室内で走るといった姿は一見、危ないと思ってしまうかもしれませんが、私たちは姿ではなく子どもの“身体を動かしたい”という思いに着目し、それを満たせるようにするにはという視点で環境を考えています。そこで、室内にも身体を動かせるスペースを作ってそこに牛乳パックの橋や巧技台などを設置したり、夕方には室内よりもさらに身体を動かすことができるようにホールに出て遊んだりしています。ホールでの遊びはその日や週によって内容を変えていますが、最近木製のレールを使って遊んでいます。レールの上を歩いていくという単純な遊びですが、子どもたちは高這いで渡ったり、跨ぐようにジャンプをしています。1つの玩具で様々な遊び方を楽しめる子どもたちの姿はとても素敵だなと感じると共に、すごいなと日々驚かされます。

これからも、子どもたちの思いを満たせるように、子どもたちの姿に合わせて遊びを考えていきたいと思います。





## すくすく



夏祭りごっこの「月夜のぼんちやらりん」から始まり運動会での『カラダダンダン』や『ヨコハマフーフーエクササイズ』で保育士や友だちと音楽に合わせてカラダを動かすことを楽しむ子どもたち。それをきっかけに普段の遊び中も「今日も踊るの?」「フーフーしたいな?」など子どもたちからリクエストが増えてきました。また、運動会の競技中のBGM（はたらくくるま）を口ずさんでいる子がいると「ぼく、消防車」「パトカーがいい」などお気に入りの乗り物に変身しながら走る姿も見られるようになりました。運動会を経験し園庭で過ごす時間に慣れてきている子どもたちは、10月からは、園庭に降りて、今まではあこがれの存在の大型遊具や大きな砂場での遊びにチャレンジして、楽しみながらカラダを動かしていきます。



## 異年齢



いつも園庭で力いっぱい遊んでいます。どこからか「よ～いどんしようよ！」と声があると「やる～」とみんなが集まってきて『かけっこ』が始まります。走るときは、腕を大きく振って「見て！速いでしょ！」と自慢の走りを見せ合う子どもたち。途中、勢いよく走るのびのび組さんが転んで泣いていると、お兄さんお姉さんが助けに駆けつけるほっこりする場面もありました。

遊びが進むと走ることだけでは物足らず、園庭にある長椅子を平均台に見立てたり、鉄棒、ネットなど障害物を並べて好きなコースを作り、いざ挑戦！

平均台の橋渡りではバランスをとりながら落ちないように慎重にかつスピードもつけて進み楽しんでいました。跳び箱からのジャンプもお手のもので高く跳んだり、遠くに跳んだりと様々な華麗なジャンプ！鉄棒では『ぶら下がり』『前回りや逆上がり』『ブタの丸焼き』など、身体をあやつり自分の得意な技を入れて遊びをどんどん広げて楽しむ姿がありました。また、雨の日の室内遊びで恒例になっている綱引き！初めはただ引っ張るだけでしたが、力の合わせ方や姿勢を低くしたりと体の使い方のコツをつかんでいった子ども達でした。今回の運動会では普段の遊びや子ども達の声から競技が生まれました。

子どもたちが『自分の大好き』を見つけて思い切り楽しむ姿を見ていただけたでしょうか！今後もたくさん元気よく遊ぶ子どもたちの姿をお伝えしていきます！



# 給食室

毎年、運動会が終わった辺りから、こどもたちの食欲がぐんと増えてきます。それに合わせ、提供するご飯の量も、こどもたちの成長に応じた見直しをして、増やしています。

「食欲の秋」たくさん食べて、いろんな食体験をして、大きく成長してほしいと思います。

さて今月は、おいもほりがありますね！

毎年、スズキさんの畑に行き、たくさんおいもを掘って、持って帰って来てくれます。収穫祭でたっぷり味わいますが、給食の中でも、さつまいもの天ぷらにして、たっぷり味わいたいと思っています。

給食メニューも秋の食材が増えました。今月は、さつまいも以外にも、秋の味覚がたくさん登場します！！

お当番活動の中でも、こどもたちに伝えながら、「食欲の秋」を楽しんでいきたいと思っています。

バタフライピー



## 木育係より



ローゼル

ソニー教育財団が主催する「科学する心を育てる」という保育実践の論文発表に、今年度は1歳児クラスにフォーカスを当て応募しました。きっかけとなったのは、ユスラウメの実を無意識に潰してしまった子どもが、自分の指先を見て不思議そうな表情をしているというエピソードです。まだ言葉を上手く話すことができない1歳児の気付きに対して大人はどう関わることで子どもたちの学びを広げていけるのか。ということ論文にまとめました。結果は1月に出る予定です。お楽しみに！

園庭にあるポタジェガーデン（門を入れて右側）に新しく3種類のハーブが仲間入りしました！

「バタフライピー」「ローゼル」「シヨクヨウホオズキ」です。バタフライピーはSNSでも話題になっていたのご存じの方もいるのではないのでしょうか？見た目も青い花びらのハーブでかわいらしく、お湯の中に入れるとお湯が青色になります。そこにレモン汁をかけると…なんと色が変わります！子どもたちとも色の変化を楽しみたいと思っているので、どんな色に変化するのかは子どもたちに聞いてみてください！

シヨクヨウホオズキ



# 今月の行事

- 9日(月) スポーツの日
- 12日(木) 六ッ川消防署総合防災訓練 起震車
- 14日(土) 布団乾燥・毛布
- 17日(火) 久保先生わらべうた
- 19日(木) すくすく組・のびのび組 芋ほり
- 24日(火) コマ撮り素材作り
- 25日(水) コマ撮り体験  
内科健診②